



コフモス

地域版
第13号



平成22年
4月

タイトル：春はあけぼの
撮影地：美咲町三休公園
コメント：桜とツツジがきれいな公園です（吉井外科医院 吉井康哲先生）

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- 🌸 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- 🌸 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- 🌸 かかりつけ医と連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



就任あいさつ



事務長 **西中 淳**

4月1日付けで、岩上事務長の後任として当院の事務長に就任しました西中淳です。どうぞよろしくお願いいたします。

団塊世代の高齢化により、国は平成14年以降医療費抑制策を実施してきましたが、昨年の政権交代により医療業界にも少し明るい兆しが差し込んでいるように思われます。失われた医療費には遠く及びませんが、今年度の診療報酬改定によりようやく一服の感もあります。

しかしながら、医療の効率化と資源の最適な配分から、地域連携、IT化、機能分化といった病院変革は今後もさらに求められ、加えて医師不足、看護師不足の解決の目途はつかず、様々な問題を生じさせています。

このような変革の中にあって、会員数41名の小さな医師会がなぜ自らの病院を持つにいたったのか、地域医療の原点に立ち返り、今後も安全で質の高い医療を提供し、地域医療支援病院として会員の先生方や地域の方々に信頼される病院作りの「縁の下の力持ち」として頑張っていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



総看護師長 **竹内 京子**

さくらの花が散り木々が生命力あふれる緑に衣替えの頃、病院では新しい年度を迎え新たなスタートをきっています。看護部においても人事異動により、4月から私が総看護師長を拝命することになりました。当院に勤務して26年余、多くの方々との出会いを積み重ね今日に至ることができたことに、改めて厚く感謝を申しあげます。

さて、看護部は病院の中で最も大きな組織です。24時間365日休むことなく患者さんの近くにおいて、安全・安心はもとより心のこもった看護の提供に努めています。初年度は、今まで築いてきた看護を基盤に、更に当院の大きな役割でもある地域との連携を強固にしていく必要性を強く感じています。看護職員一人一人の帰属意識を高め、力を結集して前進、そして、地域から支持される病院づくりの大きな力となれる看護部を目指したいと思っています。どうか進化していくために、たくさんの方々からのご指導やご鞭撻をお願い申しあげます。



きゅうせい たんのう えん
**急性胆嚢炎に対する
 腹腔鏡下胆嚢摘出術の現状と
 展望について**

副院長 戸田 佐登志

腹腔鏡下胆嚢摘出術は、わが国で1990年（平成2年）に報告されて以来、その低侵襲性により良性胆嚢疾患（胆嚢結石・胆嚢ポリープ・胆嚢腺筋症）に対する標準的治療として現在では一般認識されています。当院でも比較的早い1992年から開始し、現在まで少ないながら300例を超えています。

今回のテーマは急性胆嚢炎に対する手術時期です。従来日本では急性炎症が治まって行う待機手術が主流を占めていましたが、早期手術（急性期手術）を行っても出血量・手術時間・合併症の発生率に差がなく、入院期間の短縮、患者さんの苦痛軽減が示され、最近では早期手術が推奨されています。当院も参加した日本内視鏡学会のアンケート調査（2006、2007年分）によりますと、早期手術を原則的に行う施設が27%、症例に応じて行う施設が58%、行わない施設がわずか16%でした。

当院では症例に応じて早期手術を行ってきました。今年度からは予定の手術との重複、麻酔医の確保など容易ではありませんが、内科医と連携し原則的に早期手術を行うようにしたいと思っています。当院での早期手術は入院後4日以内を想定しています。手術後は、翌日から歩行・食事を開始し、5日目に退院としています。当院での手術を希望されることを期待しています。

腹腔鏡下胆嚢摘出術について（総胆管結石症例は除く）

1) 開始時期

463施設から回答があり、その分布は表1のとおりであった。

表1 開始時期

開始時期	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	合計
施設数	20	105	120	62	38	25	23	10	8	8	10	10	7	7	10	463

2) 施行症例数

1990年度から2005年度までの総手術件数は、254,205例であった。年度別、対象疾患別の症例数は表2のとおりであった。

表2 対象疾患別施行症例数（腹腔鏡下胆嚢摘出術）

対象疾患別	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	合計
胆石症	213	3,093	8,121	11,881	13,526	14,476	15,108	15,629	16,180	16,719	17,211	17,765	15,533	16,062	15,358	16,147	213,022
胆嚢ポリープ	9	212	612	879	1,030	1,064	1,085	936	896	1,086	1,036	954	862	851	903	970	13,385
胆嚢腺筋腫症	0	58	152	197	276	372	373	433	457	479	509	449	403	417	459	529	5,563
慢性胆嚢炎	0	45	134	279	399	491	517	477	641	658	635	555	1,747	681	968	1,035	9,262
急性胆嚢炎	3	39	127	214	258	370	415	518	590	671	827	899	835	922	1,163	1,273	9,124
胆嚢癌	1	10	36	50	60	82	75	71	77	143	122	114	101	102	100	109	1,253
その他	73	80	181	241	287	179	231	239	205	146	85	268	76	49	116	140	2,596
計	299	3,537	9,363	13,741	15,836	17,034	17,804	18,303	19,046	19,902	20,425	21,004	19,557	19,084	19,067	20,203	254,205

（日本内視鏡外科学会アンケート集計結果による）

あんぜんかんりたいさくいんかいから

リハビリテーション科 池田 奈美

当院の安全管理対策委員会は、患者さんに安全・安心の医療を提供するために、質の高い安全確保を目指しています。活動内容としては月1回の委員会、年2回の研修会を実施しています。委員会ではインシデント・アクシデント件数の集計、要因解析、対策について検討しています。

昨年度の研修会は、6月に「医療安全管理—医療事故防止のために」の講演と、院内のインシデント・アクシデント件数の報告を行いました。11月は「危険予知トレーニングについて（KYT法）施設における安全確保」の講演を行いました。

この11月の研修会では、開始時間を19時に設定しましたので、近隣の診療所や施設からも多数お集まりいただくことができました。内容としては、イラストや写真などを使って、医療現場の状態や作業行為に潜在している危険を予測し、その意識化が図れました。インシデントには大きなアクシデントが潜んでいます。現在、当院でもインシデント件数は相当あるものと思われませんが、その報告件数はアクシデント件数に比べ全体的に少ない傾向です。そこでインシデント報告件数を増やすための対策として、匿名で誰でも簡単に提出できるような報告書様式の見直しを行っています。

委員会スタッフ一同、アクシデントを少なくするためには、インシデント・アクシデントの要因解析、早期対策、検証を行い真摯に取り組んでいきたいと思えます。

危険の予知「どんな危険が潜んでいるか？」

下の絵を見て潜んでいる危険性を考えよう



解答例

- ①危険因子
 - ・点滴ラインが長いので足に絡みついでバランスを崩して転倒する。
- 防止策
 - ・点滴ラインを整理する。
- ②危険因子
 - ・照明が暗すぎると、スリッパをきちんと履けないので姿勢が不安定となり、転倒する。
- 防止策
 - ・効果的な照明の工夫が必要。
- 高齢者の夜間歩行に注意
 - 20歳と60歳では3.3倍！
 - 1～30ルクス：フットランプを置く程度。
- ③危険因子
 - ・スリッパが揃えられていないので、無理な姿勢でスリッパを取ろうとして、バランスを崩し、ベッドから転落して打撲や骨折する。
- 防止策
 - ・スリッパを履きやすいように揃えておく。
 - ・ベッド周りを整理整頓する。

医療現場での実習体験

岡山瀬戸高等支援学校 教諭 片山 美代子

私たちの学校は、平成21年4月に開校した高等部単独支援学校です。1学年40名の軽い知的障害のある生徒たちが、就労による社会自立をめざそうとする学校です。



就労できる力を身につけていくにあたっては、現場での実習体験が大切になってきます。赤磐医師会病院様では、今年度は2回にわたって計6名の生徒が実習させていただきました。

現場の空気を感じながら、おしぼりたたみや車いす清掃の仕事をはじめ、看護助手の方とともにベッドメイキングやお茶配り等の仕事を一緒にさせていただきました。生徒たちは自分のした

仕事が誰かの役に立ち、「ありがとう」と言ってもらえることに喜びを感じながらがんばることができました。卒業までにこのような実習を体験しながら、自分の適正を正しく理解していったり卒業後の生き方を真剣に考えていったりします。

今後とも本校生徒の社会自立に向けての取り組みにお力を貸していただけますように、よろしく願いいたします。



かつおの手ごねご飯

<1人分> エネルギー451kcal・タンパク質38.9g・鉄3.5mg・食物繊維1.4g・塩分2.1g・コレステロール75.3mg

★“目に青葉 山ほととぎす 初かつお”

木の芽が芽吹き“かつお”の美味しい季節となりました。今回は旬のかつおを使って簡単につくれるご飯をご紹介します。

材料（4人分）

かつお 500g
 米 2カップ（1カップ=160g）
 A：塩 小さじ1/2
 酒 大さじ1
 水 2カップ
 昆布 10cm
 B：しょうゆ 大さじ2
 酒 大さじ1
 かぼす 1コ（果汁20cc）
 しょうが 2かけ（20g）
 焼きのり 2枚（1枚=3g）
 かいわれだいこん 1パック

作り方（ミスビットのレシピ特集より）

- ① 米は炊く30分以上前にとぎ、ザルにあげて水気を切る。炊飯器に米・Aを入れて普通に炊く。
- ② Bのかぼすを絞って他の調味料と混ぜ合わせ、食べやすい厚さに切ったかつおを漬けておく。
- ③ しょうがは千切りにし、のりはちぎり、かいわれは根元を切る。
- ④ 炊きあがったご飯に②・③をざっくり混ぜ、好みでかぼす（分量外）を添える。



赤磐医師会病院 外来診療担当表

2010年4月1日から

	月	火	水	木	金	土 第1・第3のみ
内科一診 (再診)	川口 憲二 院長	萱谷 紘江	柚木 直子 内科医長	緒方 正敏 内科医長	川口 憲二 院長	担 当 医
内科二診 (初診)	柚木 直子 内科医長	緒方 正敏 内科医長	大山 正史 内科医長	川口 憲二 院長	大山 正史 内科医長	
外 科	戸田佐登志 副院長	宮木 功次 診療部長	内田 卓之 外科医長	戸田佐登志 副院長	宮木 功次 診療部長	宮木功次(第1) 内田卓之(第3)
整形外科	片山 信昭 整形外科医長	片山 信昭 受付は午後1時より		片山 信昭 整形外科医長	片山 信昭 紹介・再診のみ	担 当 医
泌尿器科			河内啓一郎		渡邊 豊彦	
疼痛外来 (予約・紹介制)		西江 宏行				
腎臓内科 (予約・紹介制)		斎藤 大輔				
循環器科 (予約・紹介制)	重蔵 正尚	森田 宏		赤木 達		
神経内科 (予約制)					森本 展年	

診療受付時間 午前8時30分 ～ 午前11時	整形外科	火曜日：午後1時～午後3時 水曜日：休診 金曜日：紹介のあった方、予約（再診）の方のみ診療
	泌尿器科	水曜日：午前8時30分～午前11時・午後1時～午後2時 金曜日：午後1時～午後3時30分
	循環器科	月・火・木曜日：午前9時～午前11時・午後1時30分～午後5時
	腎臓内科	第2・4火曜日：午後1時30分～午後2時30分

ポエムコーナー

風が吹いている
静かに優しく包み囲む風
一つ一つ色を見せながら
吹いている
風と共に…

どこに旅立つ
それは知らない世界へ
案内をしてくれる
自由の風よ
風と共に…

生きて深呼吸をする僕がいる
風はいつまでもそばにいる

黒田 秀章

poem

あとかぎ

- コ ミュニケーション(対話)
- ス マイル(笑顔)
- モ ビリティ(機敏性)
- ス キル(技術)

毎年、同じように訪れる春。
でも、毎年違う春。
春は「一期一会」という言葉を大切にしたい出会いと別れの季節。
別れを惜しみ、そして新たな出会いに期待を膨らませる。そんな“出会い”と別れの繰り返し私たちの人生を豊かにしてくれる…。
皆様との出会いに心から感謝しながらこれからもお役に立てるようがんばってまいります。
(編集部)

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1

TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946

E-mail: akaiwahp@gamma.ocn.ne.jp http://www12.ocn.ne.jp/~akaiwahp/

発行日 平成22年4月15日

